

令和5年産 麦作情報 第2号

宮城県亘理農業改良普及センター

令和4年12月21日発行

電話 0223(34)1141 FAX 0223(34)1143

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

1 麦生育状況

・播種時期が例年より早かったため、 m^2 当たり茎数は、概ね目標生育量(越冬前(年内)茎数 $400\sim 500$ 本/ m^2)を確保しています。

地区名	品種	播種時期		12月15日調査 (12/16実施)	
				草丈 (cm)	茎数 (本/ m^2)
名取市本郷	シュンライ	10月26日	本年値	9.5	355
			平年比	114%	149%
名取市植松	シュンライ	10月26日	本年値	10.8	1,124
			平年比	126%	295%
名取市下増田	シュンライ	10月26日	本年値	10.7	587
			平年比	123%	219%
名取市愛島	シュンライ	10月26日	本年値	7.7	413
			平年比		
平均			本年値	9.7	618
			平年比	121%	221%

※平年比は平成30～令和4年産の平均値との比較

※名取市愛島は平年値無し

2 今後の栽培管理

1) 麦踏み(踏圧)

- ・効果：根張りが良くなる、根の浮き上がり防止、分けつ増加、徒長防止など
- ・時期：積雪前に麦踏みを1～2回実施しましょう。

茎立ち(主茎の稈長が2cm程度)前までに実施、晩限は3月上旬頃です。

- ・注意点：ほ場が湿った状態で行うと土が硬く締まり、根の伸長阻害や排水性悪化の原因となります。ほ場が乾いているときに実施しましょう。

2) 追肥<大麦>

追肥の種類 (生育ステージ)		株直し追肥 (2月上旬～中旬頃)	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm) 3月上～中旬	減数分裂期 (幼穂長20～30mm) 4月上～中旬	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		茎数の増加 葉色の回復	有効茎歩合の増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟の向上	—
10月中旬に 播種した ほ場 (生育量が多い)	葉の黄化が 少ない場合	窒素成分 1kg/10a (硫安 5kg/10a)	窒素成分 2～2.5kg/10a (硫安 5～ 10kg/10a)	窒素成分 2～2.5kg/10a (硫安 5～ 10kg/10a)	硬質麦 防止のため 実施しない
	葉の黄化が 目立つ場合	窒素成分 2kg/10a (硫安 10kg/10a)			
11月以降に 播種したほ場 (生育量が少ない)		窒素成分 1kg/10a (硫安 5kg/10a)	窒素成分 1.5～2kg/10a (硫安 7.5～ 10kg/10a)	窒素成分 1.5～2kg/10a (硫安 7.5～ 10kg/10a)	

- ・根の浮き上がり防止、分けつ増加、徒長防止から追肥後は、麦踏みを行いましょう。